

令和3年度 天草地域自立支援協議会資料

日時:令和3年7月27日(火) 午後2時から

会場:天草市民センター 展示ホール

相談支援事業(法人名:社会福祉法人 北斗会) 2020年度事業実績報告書

対象期間 4月～3月			
目標内容	具体的な取組の実施結果（何がどうなった）	次年度に向けて（工夫や改善点）	自己評価
成年後見制度の利用促進	12月の計画相談部会で成年後見制度についての講演会を行った。天草市社会福祉協議会・山川氏から成年後見制度を利用するのメリット・デメリットについて具体的な事例を通しての話があり、参加者は相談支援専門員、行政職員合わせて30名を超えた。講演後、個人的にも質問されていた。	関係機関へ訪問した際や会議の時、講演された制度説明や事例などを紹介して周知を図っていく。	3
専門部会の運営により、圏域の相談支援専門員の質の向上を図る。	10月の計画相談部会でサービスや事業の確認を行い、利用できるにも関わらず、利用されていない制度や事業があれば、利用を勧められるよう、制度や事業の理解を深めた。2月の計画相談部会でその確認を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、集合しての部会開催は中止した。	計画相談部会への参加、関係機関との連携等を行うことで質の向上を目指していく。	3
障害福祉サービスと介護保険サービスの円滑な移行を図る。	2月の計画相談部会で議題としてあげ検討予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止した。	障害分野及び介護保険分野に携わる専門職が、移行に関する支援が円滑に出来るよう、行政や地域包括支援センターと情報共有し連携を図っていく。	3
2市1町の評価・コメント			総合評価
計画相談部会としては、コロナ渦においても、講演会やアンケート調査の実施等積極的な取組をなされたことは評価できる。アンケート調査の結果から見えてきた地域課題を次年度の取組へとつなげていきたい。さらに今後は、担当地域の地域課題や社会資源の把握、関係機関との横の連携にも努めていただきたい。また、見への相談対応のスキルの向上についても努めていただきたい。			

【評価の基準】

目標を大きく上回って達成した	5
目標を上回って達成した	4
目標を概ね達成した	3
目標を下回った	2
目標を大きく下回った	1
実施しなかった	0

相談支援事業(法人名:特定非営利活動法人ステップバイスステップ) 2020年度事業実績報告書 3月末現在

対象期間 4月～3月			
目標内容	具体的な取組の実施結果（何がどうなった）	次年度に向けて（工夫や改善点）	自己評価
障害児相談支援に関する事業所職員のスキルアップ	子ども療育センター 地域支援班へ打診 8月下旬で開催時期調整中 3時間程度 募集30名程度 演題（仮）発達のマイルストーンと困り感のある児童の発達 未実施 熊本市北部発達障害者支援センター連携 11月以降（新型コロナウイルスを考慮し決定） 「応用行動分析学・研修」 対象：関係事業所・保育園を含む 未実施	2020年度に関しては、予定していた研修の実施が出来なかった。この取り組みは2021年度へ引き継ぐ事として、教育との共労の体制・それぞれの役割の明確化を行う。	0
障害児相談支援に関する事業所職員のスキルアップ		2020年度に関しては、予定していた研修の実施が出来なかった。この取り組みは2022年度へ引き継ぐ事として、教育との共労の体制・それぞれの役割の明確化を行う。	0
具体的な不足する社会資源の検討	現状の把握 長期休暇中の受け入れ先の検討・課題の抽出 2019年度に放課後等デイサービス事業所の開設へのアドバイス、申請に関するお手伝いを行った。	現在開設準備中であるが、認可待ちの事業所に 関しては、既に、担当者会議等への参加を呼びか け、早急に対応できる体制作りを共同で実施して いく。	3
障害児・障害児の家族に対する支援体制の連絡体制整備	巡回相談・就学移行支援への取り組み 6月学校再開とともに、受け入れ先への見学・担 当者会議等の開催	福祉サービスに繋がっている未就学時の就学移 行に関しては今年度の実績同様継続して行っ ていき、体系化の定着を目指す	3
2市1町の評価・コメント			総合評価
児童部会での取組については、障がい児相談支援の不足という地域課題を捉え対策を検討されている点は評価できる。今後は、児童発達支援センター等と協働しながら、コロナ禍でもできることを検討し、児に関する支援体制（療育体制）の周知等にも努めていただきたい。 さらに、今後は、見だけでなく、担当地域については者も含めた地域課題や社会資源の把握、関係機関との横の連携にも努めていただきたい。			2

【評価の基準】

目標を大きく上回って達成した	5
目標を上回って達成した	4
目標を概ね達成した	3
目標を下回った	2
目標を大きく下回った	1
実施しなかった	0

相談支援事業(法人名:NPO法人地域ふれあいホームリンク) 2020年度事業実績報告書

対象期間 4月～3月			
目標内容	具体的な取組の実施結果 (何がどうなった)	次年度に向けて(工夫や改善点)	自己評価
○地域のニーズ調査 ・そんな困り感やどんなサービス不足、あったらいいなと思われているものなどの把握。サービスを使っていない人の現状など...	積極的なニーズ調査は行えていないが、倉岳地域の民生委員と話す機会があり、地域支援者のニーズを聞くことはできた。	相談支援事業所の利用の仕方をわかりやすく広めていくことが課題。また地域を広げて周知を行いニーズを拾い出していくよう取り組んでいきたい。	2
○地域の社会資源の把握 ・不足しているサービスや社会資源を補えるものがあるか、協力できそうものの発掘など	積極的な取り組みは行えていないが、ケースを通して不足している資源などは見えてきている。	今後もケースをとって社会資源の把握、不足している資源の開発に尽力していく。	
○児童のサービスの充実 ・事業所が増えていない中で、保育所等の理解や園での取り組みをお願いしていくために各保育所等を訪問し啓発していく。	小中学校、保育園等でのケースを通して課題を見つけることができた。サービスの不足だけでなく、保育園や学校での対応の仕方なども悩まれている先生方が多いようにも見受けられる。	保育園や学校とも連携を取りながら早期に支援が行える体制づくりを進めていく。 障害に対する理解や対応の仕方についても学ぶ機会などを作っていく。	
2市1町の評価・コメント			
担当地区の住民等とつながりを持ち、地域課題の把握に努めている点は評価できる。今後は、その取り組みを担当地区全域へと広げていただきたい。また、把握されている課題を、地域の支援者等と共有し、地域の支援力向上へとつなげていただくことを期待する。 また、専門部会の運営については主任相談支援専門員というスキルを生かし、コロナ禍でもできることを検討しながら進めていただくことを期待する。			2

【評価の基準】

目標を大きく上回って達成した	5
目標を上回って達成した	4
目標を概ね達成した	3
目標を下回った	2
目標を大きく下回った	1
実施しなかった	0

相談支援事業(法人名:NPO法人 福祉の里かわうら) 2020年度事業実績報告書

対象期間 4月～3月				自己評価
目標内容	具体的な取組の実施結果 (何がどうなった)	次年度に向けて(工夫や改善点)		
・地域の障がい者、障がい児、難病者の抱える問題の改善に努め、もって地域住民の相談事の対応を図る。	・一般相談を含め障がい者69人、障がい児47人の実人員の相談を受けた。その結果、者においては就労継続支援の利用や短期入所、グループホームの利用や居宅介護の利用等々に結びつけることが出来、社会参加や在宅生活の維持及び余暇活動の充実につながることができた。特に難病を抱えられての在宅復帰に向けては喀痰吸引等の研修を事業所に依頼することができ自宅での生活ができるようになり結びつけられた。また、児においては療育機関を主としてつなげることができ、個別療育の充実につながることができたと思われる。	今後、相談者の相談内容に幅広く対応できるようにし、個別的な支援が取り組めるように対応を図っていく。また、天草西地域における各種福祉サービス事業所間の横のつながりを持てるよう半年に一回くらいでの情報交換の場を作る。そのことにより、地域に不足する資源の開拓や事業所での困りごとに対応を図っていく、障害福祉サービスを必要とする者、児への支援向上に努めていく。	3	
・天草西地区に於いての西、牛深包括センター、社会福祉協議会との連携を図り、高齢者支援にも共同する。	・コロナ禍の影響もあって研修自体が次第に少なくなってきたが、河浦病院、社協、西保健センター等が主催する「いきいき会」への参加、河浦病院が主体となる天草市立河浦病院地域連携会議への参加を行い、障がい福祉サービスの立場としての意見を述べた。また、各町の社協や西包括支援センターとの連携を主に家族単位の支援あるいは高齢者の精神疾患等での相談に对应し社会資源の活用に関拓に取り組んだ。しかしながら、すべての問題解決には至ることはできなかった。	・今後も天草西地域においては少子、高齢化が年々徐々に増していくことで、障がい者の方の単身生活が少しずつ増加することが予測される。その為、更に西、牛深包括支援センター、各町社協、西保健センターとの連携の継続が必要とする。また、入院や入所施設から地元で暮らしたいとの意向がある方にも連携した対応を図っていききたいと思います。	3	
・引きこもり児、者への参画を図る。 ・対応困難者への介入を図る。	・河浦中学校、牛深東中学校等による引きこもり事業の会議に出席する。一件に関しては、中学校卒業後の進路が未定であるため今後の関わりが必要であると思われる。者の方に関しても訪問等を行っているが、なかなか受け入れが難しく長期的な関わりが必要と思われる。今後も継続を要すると思われる。また、対応困難者については根気よく関わり、病状不安定化を起こしての入院を防ぐことができたと思えますし、または福祉サービス利用の継続性に繋げ在宅生活の維持につなげることができたとも思います。	・引きこもり者、児への対応については永年継続の必要性が考えられるため、引き続き根気強く関わりを持ってアウトリーチを主体に行っていく。対応困難者への対応においては必要に合わせて関係機関との連携を図りながら行っていく。	2	
2市1町の評価・コメント				総合評価
担当地域全域の関係者に対し、積極的なアウトリーチを行い連携体制を構築されたことは高く評価できる。また、地域の社会資源の把握も積極的に行い、インフォーマルサービスの発掘にも取り組みられ確実に地域の支援力向上に寄与されている。 今後は、専門部会の運営に関しても上記のスキルを発揮していただきたい。			3	

【評価の基準】

目標を大きく上回って達成した	5
目標を上回って達成した	4
目標を概ね達成した	3
目標を下回った	2
目標を大きく下回った	1
実施しなかった	0

相談支援事業(法人名: 恵山会) 2020年度事業実績報告書

対象期間 4月～3月			
目標内容	具体的な取組の実施結果（何がどうなった）	次年度に向けて（工夫や改善点）	自己評価
障害福祉サービスについての啓発 インフォーマルな支援との共生	行政や社会福祉協議会等、関係機関と支援会議への参加等で連携を図り、資源の啓発に努めているが、開発には繋がっていない状況がみられている。	関係機関との連携や支援の分担を図りながら、福祉サービスや資源の紹介等を継続して行っていく。	3
地域の中で生活されている障害を持たれる方 抱える問題の改善に努めていく	ご要望を伺い、社協、就業・生活支援センター等との連携・支援の分担を図りながら、サービスの紹介、問題の緩和や改善に繋がるよう支援に努めた。	関係機関にて支援の分担を図りながら問題の解決に繋げ、当事者が安心して地域の中で生活できるよう支援していく。	2
専門部会の運営	・高次機能障害の支援について研修会等を企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、実現していない。 ・天草圏域の企業と連携し、福祉就労に繋がるよう、説明会等を開催した。	新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら高次機能障害等の研修会や販促会等の実施を検討していく。	3
2市1町の評価・コメント			総合評価
継続している地域課題（移動手段、障がい福祉サービス等の資源の不足）に対し、インフォーマル支援も含めた新たな支援や事業所開拓等の努力をお願いしたい。また、地域の障がい者、障がい児の総合窓口としての周知、関係機関との連携体制の確立を図っていただきたい。			3

【評価の基準】

目標を大きく上回って達成した	5
目標を上回って達成した	4
目標を概ね達成した	3
目標を下回った	2
目標を大きく下回った	1
実施しなかった	0

相談支援事業(法人名:社会福祉法人 啓仁会(天草整肢園相談支援事業所)) 2020年度事業実績報告書

対象期間 4月～3月				
目標内容	具体的な取組の実施結果 (何がどうなった)	次年度に向けて(工夫や改善点)	自己評価	
障がい福祉制度や福祉サービス等について地域住民へ周知を図り、利用促進を行う。	・苓北町社会福祉協議会、民生委員、区長等が参加される地域会議が、新型コロナウイルス感染防止により開催されなかった。民生委員の方への声掛けや苓北町の広報誌に記事を掲載して周知を図ったが、特に反応はなかった。	・能動的に地域会議を定期開催して、障がい福祉制度や福祉サービスの周知及び利用促進を行う。併せて意見交換会を実施する。 ・広報誌での周知活動を継続する。	2	
2市1町の評価・コメント				
地域への積極的な周知活動を行うとともに、障がい児の相談窓口としても、保育園・学校などの教育団体へアプローチを行っていただきたい。今後は、周知活動だけでなくアンケート等を実施し、地域課題の把握と整理を行い、関係団体との情報・意見交換を進めていただきたい。				総合評価 2

【評価の基準】

目標を大きく上回って達成した	5
目標を上回って達成した	4
目標を概ね達成した	3
目標を下回った	2
目標を大きく下回った	1
実施しなかった	0